

平成29年度 とんど

数日前に降った雪が残る雪景色の中でしたが晴天に恵まれ、今年も無事、1月12日(金)に美吉野園さくら広場の中央で、とんどが行われました。

しっかりと寒さ対策をされたご利用者の皆様が続々とさくら広場に集まってこられ、午後2時から、『とんど』に火入れを行いました。

途中、竹が「パン」と破裂し、破裂音が聞こえる度にご利用者が、「わっ、ビックリしたなあ」と周りの方と笑顔でお話されていました。



とんど恒例!の、ぜんざいや、きなこ餅、さとう醤油のお餅をたくさんご用意させて頂き、ご利用者の皆様に召し上がって頂きました。

ご利用者から、「お餅が好きやねん。」といった声や、「ぜんざい好きやから、嬉しいわ〜。もう一杯ちょうだい!」といった声が聞こえ、たくさんおかわりして下さり、皆様から「美味しい、美味しい」と、笑顔がこぼれていました。

とんどには、1年中の無病息災・家内安全・五穀豊穰などを祈願していることもあり、ご利用者の皆様や職員共々、今年一年元気に過ごせますように。とお祈りさせて頂きました。

とんどの意味・由来・・・

火は穢れを浄め、新しい命を生み出します。竹の爆ぜる音は災いを退け、高く上る煙に乗って正月の神様が帰ります。とんど焼きは、祓い清めという役割と、正月に浮かれた人々を現実世界に戻す、二つの役割を担った行事とも言われています。

とんどの火にあたり若返りや、焼いた団子・餅等を食べると病気をしない・虫歯にならないなどと言われています。また、燃やした書初(かきぞめ)の紙が高く舞い上がると習字が上手になり、勉強もできるようになるともいわれています。お守りやお神札(おふだ)に感謝して、古神札の焼納やだるまなども燃やします。



※写真の掲載については、ご本人の了承を頂いております。